



Super Tuned File #14

純正ラインを意識したフェンダーデザインにより、ER34で片側70mmワイドとしながらもボディとの親和性が高いワイドスタイルを構築。デモカーはリヤフェンダーで生じる後付け感を払拭するため、スムージングによる一体化が施された。

フロア下の走行風をスムーズに排出するとともに、ダウンフォースへと変換していく大胆なリヤバンパーデザイン。開口部のカバーリングで存在感を放つワイドオフマフラー、スワンネック仕様の試作ウィングも見逃せない。



KUHL RACING

KUHL RACING SKYLINE

[ER34]

● クールレーシング 愛知県名古屋市長区大根山2-503 ☎052-693-9805 <http://kuhl-racing.com>

造形美にこだわったマルチピース構造で、R35を筆頭に数々の注目車種でアグレッシブなレーシングスタイル構築を手がけているクールレーシング。さて、今回のオートサロンで披露したのは、先進のデザインで新たにアプロードしたワイドボディキットを纏うキャンディブルーのER34だ。

これまでは現行モデルをベースにエアロ開発を行なってきたクールレーシングだが、第二世代の最終形として国内外で根強い人気を集めるR34向けボディキット製作へと着手。手頃な車両価格で注目されるER34はもちろん、絶大な人気のBNR34にも投入できるユニバーサルエアロで、ワイド&ローの極まる先進スタイルをR34へと余さず注入した。



スタイリングにふさわしいポテンシャルを備えるべく、VカムとT04Zをマッチングした2.8L仕様のRB26をスワップ。ポスト1.4kg/0.1時に5700rpmをマークしているが、さらなるポテンシャルアップを模索中だ。

ちなみに、ER34の足を飾るホイール「ヴェルズKVC01」は、オートサロンデビューしたばかりのオリジナルホイール。大胆なコンケイブラフメッシュとミリ単位でマッチングを攻め込めるオーダーインセットは、ワイドボディの足を飾るのにぴったりだ。R34へと注がれた最新の息吹。アグレッシブなワイドスタイルによって切り拓かれていく新境地を、ぜひ愛車で堪能してもらいたい。



フェイスをさりげなく洗練しているのが、ミライ用LEDプロジェクターを使ったヘッドライトカスタム。エアロメーカーとしてだけでなく、コンプリートカー製作からカスタムまで手がけるクールレーシングならではのワザだ。



フロント、サイド、リヤすべてがメインパーツ+ディフューザーの2ピース仕立て。1ピースでは表現できない立体感ある造形だけでなく、実用面やロードクリアランスにも配慮する。

エッジを効かすように大胆にキマした開口部。センターを段階的に込んでのワイド感。ホイールは、打ち抜かれたスリットを施したKVC01。ボディカラーはキャンディブルー。ボディカラーはキャンディブルー。



R34スカイラインの新境地をアグレッシブなワイドスタイルで切り拓く

一段持ち上げたディスクからセンターへと落とし込むことで繊細さと深みを高めるラフメッシュホイールが、オリジナルホイールとしてデリバリーされたばかりのヴェルズ-KVC-01。オーダーインセットの2ピースホイールで、ワイドボディへのマッチングも楽々。

